

大阪府 中之島西部エリア

昨年のおおさかカンヴァスでは公衆トイレをホテルに改造する作品で大いに話題を集めた西野氏。今も世界中の公共空間で大型アートプロジェクトに挑戦し続けている西野氏に話をうかがいました。

○シンガポールやニューヨークでの大型プロジェクトが続いた近年。昨年はカンヴァスで西日本初のホテル・プロジェクトを実現していただきました。まずはその感想を聞かせてください。

「中之島ホテル」は、実際に宿泊できるホテルをいかにコストを抑えて建設するかが大きな課題でした。経験上、水回りに一番お金がかかるのを知っていたので、公衆トイレを取り込んだホテルを考えついたわけです。予算をはじめ、山のように問題が出てくると考えていたのですが、大阪のたくさんの企業や個人の方が積極的に係わってくれ、思った以上に無事に営業を終えることができました。気に入ったアイデアに対する大阪人のノリの良さに今回は今回も感心させられました。

○ニューヨークのプロジェクトには10万人を超える観客が詰めかけました。次々と大都市でアート・プロジェクトを成功され、今、都市とアートの関係についてどう考えていますか？

ニューヨークのブルームバーグ市長はプロジェクトに係る許可や金銭面での援助のみならず、自らオープニングの司会までやってくれました。彼は「文化で都市を活性化する。それを通じて観光客呼び込む。」ということを戦略的に考えているようでした。「都市にとってのアートとは何か？」というときの政治家の模範的な答えの一つでしょう。私にとってのアートとは「普段見慣れたものの別の面を見せる」、あるいは「常識の破壊」ということです。都市におけるアート作品の役割とは、忙しく惰性で流



「Discovering Columbus」ニューヨークはマンハッタンの中核部、地上21メートルの高さに鎮座するコロッセウ像をリビンクルームで囲った作品 (2012年9月20日～2012年12月2日)

されて行く日常生活の中で、人々が自らの人生を問う機会である、と考えています。

○大阪という都市は、アートの未来にとってどうでしょう？

「おおさかカンヴァス」が中断されることなく続けば、あと10年後にはほとんどなくたくさんのアートファンが生まれます。また正直に意見を言う大阪人に鍛えられ、作家たちも強く育つでしょう。大阪のアートシーンは明るいはず！

○今年、カンヴァスに応募しようと考えているアーティストたちにメッセージを！

ギャラリーで1日3人のアート関係者に作品を見られ

るのを好むのか、屋外で1000人の一般の人々に見られるのを好むのかによって、その作家の資質がわかる。俺は狭い世界がいやで外に出たけれど、それを決めるのは早いほうが良いよ。



西野 達 撮影：源澤佐智子

1960年、名古屋生まれ。現在、東京及びベルリン(ドイツ)在住。2005年「横浜トリエンナーレ2005」、「Ecstasy」MOCA(ロサンゼルス、USA)、2006年「天上のシエリー」メゾンエルムス(東京)、2007、2009「Estuaire」ナント/セント-ナザレ(フランス)、2010年「愛知トリエンナーレ2010」等に出品。銅像などの彫刻に居室やホテルを仮設で設けるなど、公共空間を使った大がかりなインスタレーションを世界各地で行っている。2011年には「シンガポール・ビエンナーレ」に参加し、マライオン像を取り込んだホテルを建設、営業するプロジェクトで大きな評判呼んだ。2012年はベルギーのゲント市の駅舎の時計台を使った「Hotel Gent」や、新潟の「水と土の芸術祭」で新作を発表。またニューヨークのマンハッタンにてコロッセウ像を取り込んだプロジェクト「Discovering Columbus」で10万人を超える観客を集め、大きな話題となった。 公式サイト：www.tatunishi.net

おおさかカンヴァス 推進事業 2013 公募

制作予算

500万円(上限)

急いでくださーい！

アーティスト さっくん

大阪府

中之島西部エリア

今年は...

で開催!

集合です!

クリエイターの皆さん

現代美術演劇関係の皆さん

デザイナーの皆さん

パフォーマンスタレント、ワークショップなど表現は自由です!

大阪のまちをカンヴァスに！アーティスト、デザイナー、パフォーマー、地域団体、クリエイター、NPO等、大阪を舞台にしたあらゆる表現活動を募集！

<http://www.osaka-canvas.jp>

企業・団体・府民の皆様へ

この事業の趣旨に沿った作品発表場所のご提供や、制作資材・協賛金などのご寄付も募っておりますので、ご協力をお願いいたします。



大阪ミュージアム構想 Osaka Museum Concept

<http://www.osaka-canvas.jp>

募集要項・提出書類等はおおさかカンヴァス推進事業の公式WEBサイトからダウンロードしてください。

この印刷物は15,000部作成し、1部あたりの単価は26円です。

おおさかカンヴァス推進事業 2013 募集要項 (抜粋)

※応募される方は、公式WEBサイトに掲載している募集要項の完全版を必ずお読みください

募集内容
制作された作品の制作、発表、展示に必要な材料費の全部又は一部を大阪府が負担します。作品は新作、既作いずれでも応募です。既に制作済みの作品の展示のみを希望している場合は、事前に制作費は支援対象となりません。また、提案者全ての特典を有するものに限ります。なお、賞状を主目的とするなど、本事業の目的に沿わない提案はご遠慮ください。

作品発表場所について
今回は、中之島西部エリア(中之島GATE)での作品発表を予定しています。将来の発展が期待される中之島西部エリア(中之島GATE)に焦点をあて、この地域の魅力を新しく生み出したり、またエリアのシンボルになるような作品を募集します。

募集スケジュール
・応募受付 平成25年5月10日(金)～6月27日(木) 必着
・審査結果の発表 平成25年8月上旬
・作品制作 平成25年8月頃から作品展示・発表までの間で2ヶ月間程度
・作品展示・発表 平成25年10月頃から平成25年12月末までの期間で1ヶ月程度

主な審査基準
・この事業の目的に沿った地域(中之島西部エリア)の魅力・発展・活性化の促進
・アイデアの斬新さ
・実現性の高さ など

応募方法
(1) 応募資格
おおさかカンヴァス推進事業の趣旨を理解し、選考された場合には作品の完成まで、責任を持って取り組める方。(個人・グループを問いません)
(2) 応募可能種別
1名/グループにつき合計3提案まで
提案は、応募者に全ての権利があるものに限ります。

- (3) 提出物
下記の内容をA3サイズ以内、かつ合計10枚以内でまとめ、ホッチキス止めして提出。
※提出物は返却しません。
※(ア)から(ウ)の所定種別は公式WEBサイトからダウンロードしてください。
(ア) 応募用紙
(イ) 制作プラン
(ウ) 制作予算見積書
(エ) 経歴書(過去作品事例などの参考資料(提出は自由です))
(オ) 上記(A)から(エ)の全てを電子データで記録したCD-ROMまたはDVD-ROM
(4) 応募に関する質問の受付と回答
平成25年5月10日(金)～平成25年6月13日(木)
回答はおおさかカンヴァス推進事業の公式WEBサイトで6月21日(金)までに掲載します。
※質問は所定の質問欄より、電子メールまたはFAXのいずれかの方法に限り、電話等による個別の質問には対応しませんので、ご了承ください。
※質問欄はおおさかカンヴァス推進事業の公式WEBサイトからダウンロードしてください。
(5) 応募料
〒599-8555 (郵便番号を記入すれば、住所記入は省略可能です。) 大阪府住之江区南港北一丁目14番16号 大阪府府民文化部 都市魅力創造局 文化課 おおさかカンヴァス推進事業担当 宛
※応募受付は、郵送のみとします。※6月27日(木)必着のこと。

制作条件 (詳細は公式WEBサイトを必ずご確認ください)
作品制作着手するまでは、作品制作・制作費・制作費について、主催者及び関係者との協議を継続していただきます。
(1) 数量・複製権に関する条件
・作品は、パフォーマンスイベント、ワークショップ等期間を定めた実施するもの等を、概ね3ヶ月は良好な状態を維持するものとします。
・パフォーマンスイベント、ワークショップ等は、原則として平成25年12月末までに複数回実施していただきます。
・作品は、発表期間終了後、原則として作者の責任において撤去し、原

状回復するものとする。(撤去や原状回復に要する費用は作業員の人員費を含むため、制作予算に見積もってください)
(2) 制作費
・必要な制作費及び制作補助人員等にかかる経費の全部または一部を、500万円を上限に、主催者の予算の範囲内(総額上限700万円を予定)で制作費を行います。
・支援対象作品は概ね以下のとおりです。
＜支援額＞ 300万円～500万円の作品 1点
概ね 100万円の作品 1～2点
概ね 50万円の作品 2～3点
提出した作品プランに、制作費見込み額を添付してください。
※所定種別及び記入方法は公式WEBサイトを必ずご確認ください。
・支援対象となる経費について
材料費、交通費(居住地から最も経済的な経路による)、滞在費(飲食を除く。滞在1泊につき7,600円以下とします)、機材等リース料、作品にかかる損害保険料、制作費及び発表時の補助スタッフまたは作品を完成させるために必要なパフォーマー派遣等費(作者本人が手配するアシスタントの人員費を除く)、制作費、展示・発表に係る場所使用料及び光熱水費、輸送費、作品設置・撤去経費、発表場所の現状復旧に係る経費、個別作品のライター等作成費等の経費を想定の上、制作予算として金額を提示してください(おおよその額で結構です)。なお下記の費用は支援対象外となります。
※機材購入費、作者が本人が手配するアシスタントの人員費、飲食費、通送料、印刷費、制作費以外にかかる経費の受け渡しは一切ありません。
※補助スタッフについて
作品の制作に際して作者の制作活動を補助する制作補助スタッフが必要な場合は、大阪府から人員を確保し、人員費を支援の対象とします。(人員費にかかる現金の受け渡しは一切ありません)
※特別な資格・技術が必要としない場合は、作業時間9時から17時までの作業とし、1人1日1万円として精算してください。
※ワークショップの実施時の手伝いのスタッフ等が必要な場合も同様に制作予算見積書に記入してください。
・本事業では、賞金や謝礼、アーティストフィー等はありません。
・制作費等は同等の現金支給、チケットや回数券等の交付等となる場合があります。
・制作費の支払いは、作者が主催者及び作品発表場所管理者の協議の上、個別に決定します。(見積り金額が必ずしも制作予算として承認されるわけではありません)
・決定した支援内容の増減は行いません。
・作品発表後であっても、社会情勢の急激な変化など止むを得ず変更する場合があります。
(3) 著作権、所有権の取り扱い
・全ての作品及び応募資料の著作権(パフォーマンスイベントを含む)

は作者に帰属します。ただし、主催者及び作品発表場所管理者は、制作費や応募資料について、おおさかカンヴァス推進事業及び作品展示・発表場所広報のため、著作権者の承諾を得ることなく無償で利用できるものとします。作品の所有権は、ウォールペインティングなど、作品発表場所から切り離せないものについては、作品発表場所所有者に帰属します。形別など作品発表場所から撤去可能なものについては、原則として作者に帰属するものとする。ただし、作者と主催者及び作品発表場所所有者との協議により、発表場所所有権等、第三者に帰属する場合があります。なお、作品制作後一定期間は、作品の所有権移転や買値、売値等について、制限が課される場合があります。提案は、応募者に全ての権利があるものに限ります。万一、応募内容に関して第三者との紛争が生じた場合は、主催者は一切の責任を負いません。応募者自身の責任と費用負担によって解決していただきます。また、第三者との紛争等により主催者に損害が発生した場合には、応募者に当該損害の一切を賠償していただくことになりますので、第三者の権利侵害についてはくれぐれもご留意ください。
(4) 作品の維持・補修に関すること
・作品の展示・発表に際して、作品保全管理のための警備員は設置しません。必要場合は、制作予算に警備費用を計上してください。
・作品を良好な状態で展示・発表するための日常的な維持及び修繕は、作者の責任において行っていただきます。また、明らかな主催者及び作品発表場所管理者に原因がある場合を除き、作品の破損、損傷について主催者及び作品発表場所管理者は責任を負いません。

注意事項
・作品の展示場所や条件については、中之島西部エリアで同時開催されるイベントとの調整が必要な場合があります。
・作品プラン提出時には、作品展示(又はイベント等実施)を希望する場所の管理者等の許可を事前に得ておく必要があります。作品の選考過程において、作者と主催者及び関係者が必要に応じて協議していただきます。
・作品制作・展示・発表に関する、地域の人々の協力や参加については、作品の選考過程において、作者と主催者及び関係者が必要に応じて協議していただきます。
・作品の展示場所は、開催中・終了後の安全確保のための主催者及び展示・発表場所の管理者の指示に従っていただきます。
「中之島西部エリア(中之島GATE)」でのイベント開催予定等については、今後詳細が順次決定、公表してまいりますので、おおさかカンヴァス推進事業の公式WEBサイトで最新の情報をご確認ください。



Osaka Canvas Project

[募集期間] 平成25年5月10日(金)～6月27日(木)

今年のおおさかカンヴァスは 中之島西部エリア(中之島GATE)で実施!!

開発が検討されているエリアにて、
その知られざる魅力や可能性を引き出す作品を募集

大阪府では世界的な創造都市を目指し、大阪市とともに、様々な戦略の実現化に向けて取り組んでいます。
なかでも中之島周辺は、近代建築が立ち並び文化と歴史溢れる東部エリアから、これから開発を進めようという
西部エリアまで多彩な魅力を擁し、重点的に都市魅力の創造・発信に取り組む地区のひとつとして
様々な計画が検討されています。

今回のおおさかカンヴァスでは、将来の発展が期待される「中之島西部エリア(中之島ゲートエリア)」
に焦点を当て、この地域の魅力を新しく生み出したり、またエリアのシンボルとなるような作品を
募集します。未来への可能性に満ちた都市像をあなたとともに創造していきたいと考えます。

※中之島ゲートエリア : このエリアは、平成24年に府・市がとりまとめた「大阪都市魅力創造戦略」において、水と光の首都大阪の実現に向けて新たな
シンボル空間を創出するエリアのひとつとして位置づけられています。



中之島西部エリアってどんなところ?

川の結節点が海へとつながる「水都大阪」を
象徴するエリア

4つの川が交差する特徴的空間

堂島川、土佐堀川、安治川、木津川が交差し、海へと
つながる立地は、大きな空と水面が織りなす、知ら
れざる夕日の名所としても知られ、都心部では希少
な雄大な景観を擁する。



堂島川・土佐堀川から西を望む

大阪開港の地という歴史性

1868年に開港され、この地域一帯に外国人居
留地が設けられた。1874年には大阪府庁舎も建
てられ、政治・経済の中心として、近代化大阪の
最先端を担うエリアとして栄えた。



「政府より新橋之風景」 府立中之島図書館

「食」の流通拠点

江戸時代、水運の便がよかったこの地域で生まれた生魚
市場は「雑魚場(ざこば)」と呼ばれ、大いに賑わった。昭和
6年には「西日本一の食の拠点」として大阪市中央卸売市
場が開場した。また、近くの水辺で定期的に開かれる
「ざこばの朝市」も人気を博している。



「雑魚場」 府立中之島図書館



にぎわうせりの様子

府立江之子島文化芸術 創造センター(enoco)も!

旧居留地内に残されていた近代建
築を改修し昨年4月にオープン。
「おおさかカンヴァス」とは連携企
画等でコラボを予定しています。



ジャズの屋外ライブ

ええ作品、求む!

02 野田南緑道

安治川右岸、船津橋の西側に整備された緑
道公園。昨年の社会実験ではオープンレス
トランやライブ、ファッションショーなどが実施さ
れ、川辺の魅力を伝える格好の舞台となつた。



04 台船

38m×12mの巨大な台船が野田南緑道前
に停泊。10トンまで積載可能で360度回転
できるクレーンも併設されている。広大なデッキ
や3階建ての船楼の1~2階、屋上、船倉等も
部分的に使用可能。赤いクレーンの存在感がひ
とくわ際立つ台船をフル活用するプランを募集!



大阪市中央卸売市場



(協力:橋島区)



全長 37.5m
幅 12.00m
高さ 15.0m
喫水 0.50m

中之島GATEならではの! の展示候補地を紹介

下記に掲載している各展示候補場所のほか、このエリア内または
近辺の場所や施設等で自由に提案してください。
※場所の利用については、同時期に開催を予定している社会実験イベント等との調整が必要な場合があります。

01 中之島西の剣先

端建蔵橋と船津橋の境から川側へ丸く突き出ているのが西の剣先である。
中之島東の剣先には噴水が設けられたが、西の剣先は存在感に欠ける。
このエリアをシンボライズするような作品を募集!



03 住友倉庫・外壁

1929年に竣工。住友倉庫本社と倉庫機能
を備えた6階建ての巨大建築物。昨年の
社会実験では壁面がライトアップされ、そ
の独特のフォルムがカラフルに彩られた。
作品展示場所として外壁の利用が可能。



05 安治川河川敷(埋立地)

安治川左岸、富島税関跡地に隣接する入堀周
辺護岸の耐震工事に伴い埋め立てた更地で約
4,500平方メートルある。今年度の社会実験の際
には、隣接エリアも含め、ウォータースポーツや
オープンレストラン・屋台、マーケットなどもプラン
としてあがっている。水際ぎりぎりまで広大に
広がる手付かずの空間ならではの作品を募集!



06 その他

4つの川の結節点が海へと広がる大空間。
周辺では倉庫や護岸壁が独特の風景を作っ
ている。ここに記載されている以外の場所や
施設を用いての提案も歓迎。水面そのもの
を使った作品などもぜひ!



中之島 GATE FLOATING PARK

未来、
中之島GATEはこうなる!

このエリアのポテンシャルを活かし、水と光と食をテーマとした、
新しい水辺のライフスタイルを具体化するプランが
提案されています。(参考資料: <http://www.pref.osaka.jp/toshimiyoku/suito-gate/index.html>)

中之島GATEでは、 今秋、さらに大規模な 社会実験をイベントを開催予定!

昨秋、このエリアで社会実験が実施され、右岸の公園で
オープンレストランを営業したり、建物のライトアップや音楽
ライブの実施、小型船係場の設置等、水都大阪の新しい拠
点としての可能性を探る試みが様々な催されました。
昨年に引き続き、今秋は左岸の広大な埋立て地等も加え、
ウォータースポーツやクルーズ、ライブ、オープンレストラン、
マーケットなど、両岸一体的に実施する社会実験を予定。
おおさかカンヴァスは、食・水・光をテーマとした、こういった
イベントと連携し、エリアの魅力創出の可能性を探ります。



にぎわうオープンレストラン

住友倉庫のライトアップ

クルーザーが次々と接岸



2013年度募集概要

事業目的

この事業は、「第3次大阪府文化振興計画」に掲げる方向性、「『大阪の街を使いこなす』～都市全体を発表の場』と『『地域資源を活かした大阪の魅力向上』～大阪ミュージアム構想の推進』に沿って、大阪のまち全体をアーティストやクリエイター等の発表の場として活用し、大阪の新たな都市魅力を創造・発信しようとするものです。

公共空間とアートのコラボレーションによって、都市や地域の新たな魅力を発見・発信すること、アーティストやクリエイターが、アイデアと想いを実現できる機会を得ることを目的とします。(この場合の公共空間とは、公共施設に限らず、不特定多数の人の目に触れる場所とします)

募集内容

大阪のまちをアーティストやクリエイターの発表の場として「キャンバス」に見立て、アーティストやクリエイターが制作したい作品と場所についてアイデアを募集、集まったアイデアの中から5作品程度を選考して作品を発表していただきます。

今回は、将来の発展が期待される「中之島西部エリア(「中之島GATE」)に焦点をあて、この地域の魅力を新しく生み出したり、またはエリアのシンボルになるような作品を募集します。

絵画(ペインティング)だけでなく、オブジェ、演劇、パフォーマンス、プロジェクト、ワークショップなど、アートやデザインのあらゆる表現形態を対象とします。

制作予算

作品制作にあたっては、必要な制作資材及び制作補助人員等にかかる経費の全部または一部を、500万円を上限に、概ね下記の金額・点数を予定し、主催者の予算の範囲内で制作支援を行います。

<支援額>

300万円～500万円の作品 — 1点
概ね 100万円の作品 — 1～2点
概ね 50万円の作品 — 2～3点

※制作支援対象経費

材料費、交通費、滞在費(飲食を除く)、機材等リース料、作品にかかる損害保険料、制作時及び発表時の補助スタッフまたは作品を完成させるために必要なパフォーマー派遣等(作者本人が手配するアシスタントの人工費を除く)、作品制作、展示・発表に係る場所使用料及び光熱水費、輸送費、作品設置・撤去経費、発表場所の現状復旧に係る経費、個別作品のフライヤー等作成費 等

審査基準

- ・この事業の目的に沿った地域(中之島西部エリア)の魅力発掘・発信度
- ・アイデアの斬新さ
- ・実現性の高さ など

応募対象者

本事業の趣旨を理解し、選考された場合には作品の完成まで、責任を持って取り組める方。(個人・グループを問いません。)

アーティスト、デザイナー、クリエイター、地域団体、NPO、アートプロデューサー等

事業スケジュール

- ・応募受付 …
- 平成25年5月10日(金)～平成25年6月27日(木) 必着
- ・結果発表 … 平成25年8月上旬
- ・作品展示・発表 … 平成25年10月頃から平成25年12月末までの期間で1ヶ月程度

※展示発表時期や期間は、中之島西部エリアで開催される他の事業等と連携しながら作品を発表することを想定しています。

説明会開催

募集に関する説明会を開催します。

概要説明会

平成25年5月28日(火)
19:00～20:00

募集に関する概要説明をいたします。

概要説明会 + 現地案内

平成25年6月1日(土)
14:00～16:00

概要説明の後、中之島西部エリアに移動、展示候補地を案内します。

集合場所:

大阪府立江之子島文化芸術創造センター
大阪府西区江之子島2-1-34
(大阪府地下鉄千日前線・中央線「阿波座駅」8番出口から西へ約150メートル)
※事前予約不要(開始時間30分前から先着順に受付)

審査委員

建昌 哲 (たてはた・あきら)

京都市立芸術大学長、埼玉県立近代美術館長
1947年、京都生まれ。多摩美術大学教授、国立国際美術館長等を経て、2011年から現職。90年、93年にヴェネチア・ビエンナーレ日本館コミッション、横浜トリエンナーレ2001のアーティストティック・ディレクター、あいちトリエンナーレ2010芸術監督等を歴任。詩人、美術評論家としても活躍中。『余白のランナー』(歷程新鋭賞)、『零度の犬』(高見順賞)などの詩集の他、多数の著書がある。

玉置 泰紀 (たまぎ・やすのり)

関西ウォーカー編集部 編集長
1961年大阪生まれ。同志社大学卒業後、産経新聞大阪本社に入社。大阪府警捜査1課担当などを経て、福武書店(現ベネッセ)に転職。月刊女性誌「シュシュ」創刊に加わり、その後「たまごクラブ」「ひよこクラブ」の準備に携わった後、角川書店に再転職。東京版「シュシュ」、九州ウォーカー創刊、後に同誌編集長、東海ウォーカー、大人のウォーカーの創刊編集長を経て、17年ぶりに大阪に戻り、現在に至る。ユーストリーム&ニコニコ動画の関西ウォーカーTVを運営中。上方漫才大賞の審査員も務める。

ヤノバケンジ

ウルトラファクトリー・ディレクター(京都造形芸術大学教授)
1965年、大阪生まれ。90年初頭より「サヴァイヴアル」をテーマに大型機械彫刻を制作。97年にチェルノブイリを訪問する「アトムスーツ・プロジェクト」を行うなど社会的メッセージを含む作品群は国内外で評価が高い。昨年は震災復興記念事業「福島エンナーレ」にて希望のモニュメント「サン・チャイルド」をサポーターから設置資金を募って展示(福島空港にて継続展示中)。瀬戸内国際芸術祭2013ではビートたけしのコラボレーション作品「ANGER from the Bottom」を発表、大きな話題を集めている。

忽那 裕樹 (くつな・ひろき)

ランドスケープ・デザイナー
1966年、大阪生まれ。ランドスケープ・デザイン及びまちづくりを国の内外にて実践。千里リハビリテーション病院(グッドデザイン賞等)では、造園デザインに新しい方向性を示し評価を受けた。中国では吉林や青島等10を越える地域で、歴史や環境を活かした最先端の都市づくりを進め、注目を集めている。「大阪府立江之子島文化芸術創造センター」のプラットフォーム事業を手がけるとともに、今年は民主選挙の水と光のまちづくり推進組織「水都大阪ハートナース」として数々の事業の企画・運営を実施予定。

塩山 諒 (しおやま・りょう)

sumasuta(NPO法人スマイルスタイル)代表
1984年生まれ。2007年、社会的課題解決に向けたクリエイティブチーム「sumasuta」を結成。2008年、法人化。テーマは「衝動クリエイト」。不登校・ひきこもりの自身の経験から駆り立てられる衝動が常に動力となり、市民・企業・行政協働型の様々なソーシャルプロジェクトを手がける。レイブル(働く意志をもつニート)の就労支援をすすめる「大阪一丸」、東日本大震災で被災した高校生を支援するプロジェクト「いしのまきカフェ」の企画・運営など、時代がまさに求める課題について人と人のつながりを大切にしながら、斬新な提案と実践を続けている。



これまでのキャンバス

“アート×公共空間”の関係を縦横無尽に問うた3年間—90点近くの作品を発表

2010年度 好きな場所で自由に!

アーティスト自身が選択した場所で自由に作品を発表。泉南から北摂の府域全体で、メカアートから地域交流・参加型まで27作品を展開。関西国際空港や藤銭湯、公園、府庁舎等が舞台になりました。



2011年度 “都市×アート”の 多彩な関係

中之島、服部緑地、新世界などの重点エリアを設け、48作品を発表。通天閣や病院、デパート、商店街、テニスコートなど、公共空間とアートの多様で豊かな関係のあり方を提示しました。



2012年度 都市公園の可能性を追求

水都大阪フェスと連携し、中之島公園を中心に11作品を展示。公衆トイレや河などを思いもよらない形で利用する作品によって、水辺の公園の楽しみ方を大きく広げました。



2012年のキャンバスはこんな作品!

中之島公園がメインの展示場所となりましたが、それ以外の場所でも作品が展開されました。

震災の記憶を受け継ぐ ブランコ

「若林 100年ブランコ」
淀川テクニック

東日本大震災の津波で流された仙台若林区の防風林の松の木を使い、高さ3.5メートルのブランコとして組みあげた作品。作者は2011年の夏、現地に滞在して作品を制作した。震災直後に山積みされていた松の御木は、今はすべて片付けられたが、ブランコとしてその記憶をとどめ、そこに乗り、身を任せる人々に何かを伝える作品として生まれ変わった。現在は大阪の地で保管され、再展示等も予定されている。



今回は「案内嬢」が 大阪ならではの映像作品に 「案内嬢プロジェクト・大阪編」 やなぎみわ

作者による国際的に評価の高い写真作品「案内嬢」シリーズをもとに、今回は案内嬢が萩原朔太郎作の「日清戦争異聞」をもとにした朗読劇を展開。映像作品としてまとめたものを大阪市中央区の芝川ビル等で上映した。萩原の小説の背景となった時代の意匠を色濃く残す近代建築を舞台に、浪曲等の大阪ならではの話芸を交えて繰り広げられる朗読劇によって、大阪ならではの歴史性や文化が新しい形で継承される作品となった。



あなたは「ニュータウン」 を知っていますか?

「大きな本～人がまちを読む風景～」
千里グズの会+大阪大学建築・都市計画論領域

2012年にまちびらきから50周年を迎えた千里ニュータウン。日本初の大規模な計画都市として、住民や行政、専門家といった多様な立場の人々が新しい取組みを重ねてきた地である。このニュータウンの歴史を「大きな本」に詰め込んで展示、共有してこうというプロジェクト。当時のままの住宅を特別公開したり、まち歩きツアーを開催するなど、このまちの歴史と未来を地域の人たちとともに考える機会となった。





2012年のカンヴァスはこんな作品!

中之島公園(および隣接する府立中之島図書館)をメイン・エリアに作品を展開。公園を一気に祝祭空間へと変貌させました。



シルエットと光で描く物語の世界

「ミンハメグリ」 谷澤 紗和子

「鉢かつぎ姫」など、大阪にまつわる民話や古典文学を題材にした大きな切り絵を、中之島図書館に展示。近代建築として名高い図書館のドーム型ホールなどの空間を巧みに利用し、切り絵が醸し出す光と影のその場限りの物語が繊細に紡ぎだされた。期間中、民話の読み聞かせイベントも行われ、シルエットで魅せる切り絵ならではの世界を多くの人が堪能した。

体全体で楽しむ巨大木琴

「輪唱の〇」 つちや あゆみ

らせん状に組まれた木でできた楽器に、ボールを転がして音を出したり、板を組み替えて自分だけの曲を作ったりと、メロディーを奏でる喜びを体全体で楽しめる木琴型の作品。「かえるのうた」を基本形とし、時間差でボールを転がすことで輪唱を楽しむこともできる。なかなか帰ろうとしない子供も続出するほど大人気。木が奏でるふくよかで優しい響きが公園に豊かな時間を運んでくれた。



池ポチャゴルフが川をきれいに!?

「GREEN to CLEAN」 NANIWAZA (ナニワザ)

川の中にグリーンに見立てた船を浮かべ、ゴルフボールを打ちこみホールインワンを狙おうという参加型作品。ボールには水質浄化に役立つといわれる材質を用い、河川環境についても考えてもらう機会とした。プカプカ浮かぶグリーン目がけて大人も子供も大いに楽しんだプロジェクトは、都市を流れる川に楽しさと親しみに満ちた風景を生み出し、我々と川との距離を大いに縮めてくれた。



高さ13メートルの圧倒的なこけし

「イッテキマスNIPPON シリーズ「花子」」 Yotta Groove

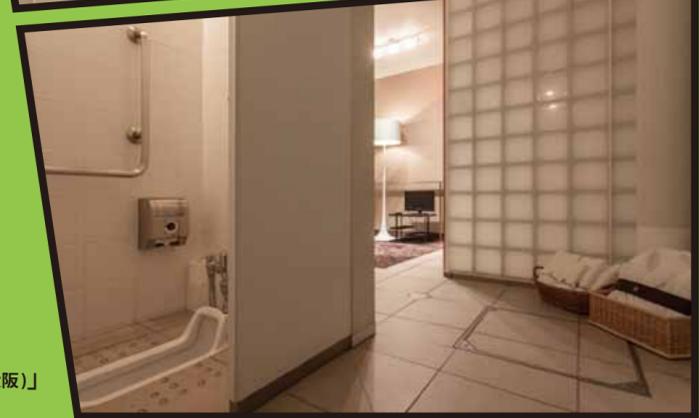
2010年度の「おおさかカンヴァス」で初めて発表・展示された作品。リバイバル展示を望む大人気に応じて再登場。足元に足湯を携え、歌うたり、おしゃべりしたりする「花子」は抜群の存在感で、今回も中之島公園を賑やかな祝祭空間に一変させる役割を十分に果たしてくれた。



トイレが高級ホテル!?

「中之島ホテル」 西野 達

中之島公園内の公衆トイレの一部を取り込んで「ホテルの一室」を建設し、実際に宿泊してもらうプロジェクト。入口にはコンシェルジュを置き、家具は高級ヨーロッパ製など本格派。公共空間をまったくのプライベート空間として体験するという「未知の体験」は大きな話題を呼んだ。作者は世界各地で同様のプロジェクトを実施し、都市とアートの関係に衝撃的かつ爽快な問いを投げかけ続けている。(作者へのインタビューを本誌裏面に掲載)



最年少アーティストがデザインした癒しキャラ登場

「グラサンパンダを探せ!!」 真鍋 珠実

漫画が得意な作者は当時小学校6年生。彼女がデザインしたキャラクター「グラサンパンダ」のぬいぐるみを公園内に設置、スタンプラリーで景品ももらえるプロジェクト。プラコにゆられていたり、芝生で日光浴したり...作者のお母さんが手作りの個性的なグラサンパンダは存在感抜群で、子供たちの人气的。「特に子どもたちに楽しんでもらいたかったから応募しました」という作者の言葉通りの作品となった。



私にとって大阪の風景とは?

「My Own Osaka(私自身の大阪)」 m.y.city

日本の大学で都市計画やデザインを学ぶブラジル人とポルトガル人の留学生3人組が、移動式屋台を引きながら、参加者のリクエストに応じて記念撮影、撮った写真に、大阪の名物などのパーツを組み合わせて、自分だけのポストカードを作ろうという仕掛けになっている。人が都市について持っているイメージをあぶりだそうとする本プロジェクトは、都市と人の関係に強い興味を持つ研究者としての彼女たちならではの発想である。



大阪のおバチャン大集合!

「47人のオバちゃん」プロジェクトオバちゃん

大阪が世界に誇るオバちゃんやかまじいけれど、人情深くて義理堅い、そして最高におもしろい。そんなオバちゃん文化こそ、大阪が守っていくべき財産と考える作者が企画した、47人のオバちゃんによるパフォーマンス。ビョウ柄の洋服に身を包んだオバちゃんたちがあめちゃん配りに人生相談、値切り代行しながら大阪の街を我が物顔で闊歩。その強烈な存在感で、大阪に「オバちゃん」流の温かいコミュニケーションの風を巻き起こした。

